

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	2008	会計コード	85	高速電車事業会計	事業コード	25095	
事業名	新型車両の導入						
評価担当課	所属コード	交通局高速電車部車両課					
	担当者名	恩田 雅秀	電話番号	896-2751			
政策名							
施策名	主	利便性・サービスの向上(地下鉄)					
	副						
事業の性質	<input type="radio"/> 経常経費 [ <input type="radio"/> 内部管理 <input type="radio"/> 内部管理以外 ] <input checked="" type="radio"/> 臨時的経費						
事業内容	目的と内容	東西線4編成を6000形から8000形に更新。					
	主たる受益者	地下鉄利用者					
事業の必要性	東西線6000形車両は、耐用年数が超えているものを延命措置しながら使用しており、計画的な更新が必要である。						
実施期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度継続 <input type="radio"/> 複数年継続			開始	年度	終了	年度
実施形態	<input checked="" type="radio"/> 直営 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 補助・助成 <input type="radio"/> その他						
関連法令							
他都市の状況							
関係HP							
関連計画	新まちづくり計画	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外			計画コード		
	政策目標						
	重点課題						
	施策						
	基本事業						
その他関連計画	札幌市営地下鉄事業10か年経営計画						
環境保全事業	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		目的				
	目標						
	指標					監視測定結果	
環境負荷事業	<input type="radio"/> 対象 <input checked="" type="radio"/> 対象外		目的				
	目標						
	指標					監視測定結果	

## ◎事業費

		18年度決算	19年度決算	20年度予算	20年度決算	21年度予算
事業費(A)		3,944,919	3,825,022	2,955,896	2,760,776	0
特定財源	国・道	0	0	0	0	0
	市債	3,155,919	3,060,022	2,364,717	2,208,776	0
	その他	789,000	765,000	591,179	552,000	0
	一般財源	0	0	0	0	0
人工		8.0	8.0	8.0	8.0	0.0
人件費(B)		73,887	73,438	77,416	70,448	0
計(A+B)		4,018,806	3,898,460	3,033,312	2,831,224	0

事業費の 執行内容	
--------------	--

## ◎指標

指標 1	指標名	新型(8000形)車両編成数。				
	設定理由	更新後の新型(8000形)車両編成数をもって指標とする。(全24編成)				
	目標・実績	17年度実績 13編成	18年度実績 17編成	19年度実績 21編成	20年度目標 24編成	20年度実績 24編成
指標 2	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度目標	20年度実績
指標 3	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度目標	20年度実績
指標 4	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度目標	20年度実績
指標 5	指標名					
	設定理由					
	目標・実績	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度目標	20年度実績
補足説明						

【事業担当部局】

市民自治の観点からの評価		交通局ホームページに局実施プランとして、年度ごとの状況を公開するなど、適切な情報共有を図っている。	
妥当性・必要性の検証	経常的経費	成果の視点での検証	
		コストや効率性の視点での検証	
		事業費縮小の影響	
	臨時的経費	実施によるプラスの効果	計画的な車両系の更新により、お客様に安全安心で快適な乗車サービスができる。
		事業を行わなかった場合のマイナスの影響	東西線6000形車両は、耐用年数が超えているものを延命措置しながら使用しており、故障の可能性が高くなるなど地下鉄の運行に支障が出る恐れがある。
課題			
今後の方向	内容	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 縮小    ○ 休止・廃止    ○ その他 札幌市営地下鉄事業10か年経営計画に基づき、順次整備を実施。	
	歳出見通し	○ 増加    ● 増減なし    ○ 減少    ○ 予算なし    ○ その他	
備考			

【2次評価】

--

【外部評価】

--

【改善・見直しの検討結果】

--